

長岡市共通商品券協同組合

ポイントカードを計画中 加盟店向けの勉強会も

ポイントを貯めて買い物を

長岡市共通商品券協同組合（東坂之上町2、今井廣和理事長）は、「ポイントカード事業」（名称は未定）に向けて準備を進めている。同組合は長岡市共通商品券を組合設立と同時に発行し、ことしの4月で30年が経った。しかし現状は加盟店の減少に直面しており、ピークの346店（1997年）が現在では277店になっている（2017年4月末）。

同組合ではこうした現状への対策にもなり、同時に地域活性化にも役立つポイント事業を新たに推進したいと実施に向け張り切っている。

加盟店向け3回
目の勉強会を19
日実施する

同ポイント事業は
利用者（消費者）が
同事業の加盟店で買
い物をした際、専用

カードにポイントを貯め
る。この貯まったポイン
トで別途買い物などがで
きるシステム。加盟店は
もちろん非加盟店でも同
共通商品券の加盟店であ
ればポイントを使って買
い物ができる。ポイント

を貯めるだけでも可能。溜
まったポイントは、同共
通商品券と交換もでき
る。電子マネー機能も付
ける計画である。

同事業は加盟店50社ほ
どで成り立つ見込みで組
合では現在、加盟店を募

集している。既に加盟店
向けの勉強会を2回開催
した。3回目の講習会は
19日午後5時30分から、
長岡ランドホテルで同
組合の総会後実施する。

同講習会では、ポイント
カード事業で実績をあげ
中小企業庁の「ははたく
商店街30選2016」（関
東地方）にも選ばれたモ
トスミ・プレーメン通り
商店街振興組合（神奈川
県川崎市）から理事長の
伊藤博氏を招いて成功事
例などを学ぶ。伊藤氏は
「ポイントカード導入に
ついて」をテーマに最新
の情報を話すという。

の活性化にも繋げること
ができる。渡部さんは、
「お買い物ポイントでは
なく『長岡ポイント』と
して、地域の囲い込みを
目指したい」と張り切っ
ている。

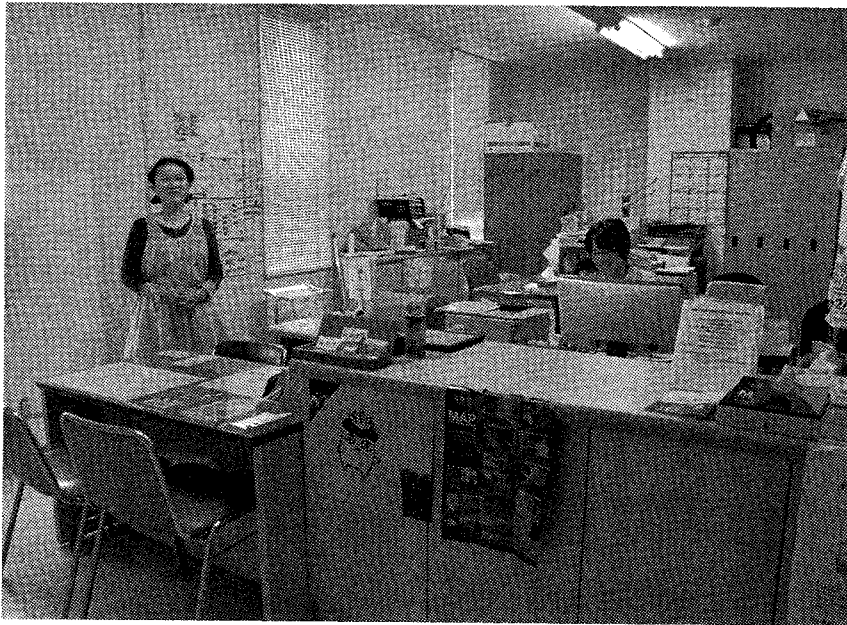
同共通商品券（20
16年5月～17年4月）
は、2億4000万円分
を発売している。前年は
2億7000万円分発行
し2億8000万円分を
回収した（加盟店の売り
上げに寄与）。渡部さん
は、「新しい飲食店が増
えている。ぜひ加盟店に
加わってもらい、使える
お店を増やしていきたい」とし、「ポイントカー
ド制度を活用したいとい
うお店にはぜひ組合にも
加盟し、地域活性化に繋
ぎたい」と話している。

加盟店の増加を図りたい

同組合の渡部直美事務
局長（45）は、「まずポ
イントカード事業に興味
を持ってもらう事で、加
盟店の増加を図りたい」とし、「買い物をした人
に少しでも喜んでもら
い、得した気分になっ
てもらいたい」と話す。

市内で買ったポイント
を市内で使う事で、地域

問い合わせは同組合
（TEL 86-7107）へ。



「組合に加盟し、地域活性化に繋げてもらいたい」とする渡部事務局長（左）